

## 事業概要

モデル事業名	宮城県気仙沼地域と大阪の双方向的な被災者救援・復興支援事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input checked="" type="checkbox"/> 震災対応案件
事業実施主体名	共生社会東日本地震被災者救援・支援の会
実施期間	平成 23 年 7 月 29 日～平成 24 年 3 月 31 日
支援額	900 万円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	大阪市市民局区政課市民活動グループ、（社福）大阪市社会福祉協議会、（社福）ふれあい共生会、PTA コラボネット大阪、NPO 法人 SEIN、NPO 法人ネットワークオレンジ、大阪府立北摂つばさ高校、宮城県立気仙沼高校、グロービス経営大学院
目的・趣旨	本事業は、対象地域を宮城県気仙沼市とその周辺地域（以下、気仙沼地域）に限定したうえで、対象者と課題を青少年や特別な支援が必要な人々、経済復興に絞り込むことで、現地のニーズに的確に対応できる事業として実施する。そのうえで、大阪から被災地への支援を一方的に提供するのではなく、相互交流などを通じて被災経験や現地の復興活動から学び、大阪の防災・減災、新しい地域社会のあり方を考える機会につなげていくという双方向的な観点に立つことで、中長期的な支援を展開していくことを目的とする。
事業内容	<p>本事業は、以下の 3 つから構成される。</p> <p>1) 支援に関する情報提供・ニーズ調整事業  大阪の個人や団体（以下、大阪市民）へ気仙沼地域の被災者や復興活動に取り組む団体が求めている支援に関してアップデートな情報提供を行うとともに、具体的な支援策（義捐金や義援物資、ボランティア活動の希望など）をもちながら、支援の方法や提供先がわからない大阪市民に気仙沼での受入先などを紹介することで、大阪から気仙沼地域への支援を促進させる。</p> <p>2) 特定の対象者や課題を共有した連携事業  本事業では、青少年（高校生や大学生など）、特別な支援が必要な人々（障害者や高齢者、メンタルヘルスを必要な人々、女性など）、経済復興に向けた活動という 3 つに絞り、それぞれプロジェクトチームを作る。そして、それぞれの PT は、大阪での支援体制を形成、拡大し、気仙沼地域からの義捐金や義援物資、ボランティアなどに関する個別、具体的な要請に対応していく。</p> <p>3) 連携団体を通じた交流・被災経験学習事業  気仙沼地域から大阪に青少年や特別な支援が必要な人々、経済復興に取り組んでいる人々を招き、これらの課題に関心をもつ人々との交流や被災経験や復興活動事業の実践例から学ぶ場を大阪で設定し、気仙沼地域への支援の輪を拡大していく。また、大阪からボランティア活動などのために気仙沼地</p>

<p>域を訪問した際にも、現地での交流や学習の機会を盛り込み、人的な関係の強化や支援者の防災・減災意識の向上とノウハウ獲得などをめざす。</p>
--